

平成 21 年度 熊本保健科学大学一般前期入学試験問題
看護学科 数学 I・A(平成 21 年 2 月 4 日)

1 次の各問い(問 1~5)に答えなさい。

問 1 $x + y = 2$, $x^3 + y^3 = 32$ のとき, $xy =$ である。

問 2 x の 2 次方程式 $x^2 - (2a - 1)x + a^2 - 2a + 2 = 0$ は, $a = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}}$ のとき,

重解 $x = \frac{\text{オ}}{\text{カ}}$ をもつ。

問 3 a, b は定数で $a > 0$ とする。2 次関数 $y = ax^2 - 6ax + b$ ($1 \leq x \leq 4$) の最大値が -3 , 最小値が -11 のとき, $a =$, $b =$ である。

問 4 $\tan \theta = \sqrt{2}$ のとき, $\frac{1}{1 + \sin \theta} + \frac{1}{1 - \sin \theta} =$ である。

問 5 三角形 ABC において, $AB = 6$, $CA = 4$, $\angle BAC = 120^\circ$ のとき, 三角形 ABC の面積は $\sqrt{\text{サ}}$ である。 $\angle BAC$ の二等分線と辺 BC の交点を D とすると, $AD = \frac{\text{シス}}{\text{セ}}$ である。

2 次の各問い(問 1~5)に答えなさい。

問 1 1 から 100 までの自然数のうち, 2 で割り切れるが, 3 で割り切れない数は, 個ある。

問 2 男女 3 人ずつ合計 6 人の生徒が円形のテーブルのまわりに座るとき, 女子 3 人が隣り合う座り方は, 通りある。

問 3 7 人を 2 人, 2 人, 3 人の 3 組に分ける方法は, 通りある。

問 4 10 本のくじの中に当たりくじが 2 本ある。この 3 本のくじを同時に引くとき, 少なくとも 1 本は当たりくじを引く確率は, $\frac{\text{ク}}{\text{ケコ}}$ である。

問 5 $\angle BAC = 50^\circ$ の三角形 ABC において, 内心を I とする。このとき, $\angle BIC =$ $^\circ$ である。

- 3 三角形 ABC において, $AB = 5$, $CA = 7$, $\angle ABC = 60^\circ$ であり, 内接円を O_1 とする。また, 2 辺 AB , BC および円 O_1 と接する円を O_2 とする。

問 1 $BC =$ である。

問 2 三角形 ABC の面積は, $\sqrt{\text{エ}}$ である。

問 3 円 O_1 の半径 R を求めなさい。(解答の過程をすべて記入すること)

問 4 円 O_2 の半径 r を求めなさい。(解答の過程をすべて記入すること)

- 4 a を正の定数とする。2 次関数 $y = f(x)$ のグラフを, x 軸方向に -1 , y 軸方向に 2 だけ平行移動すると, $y = x^2 - 2(a-1)x + a + 2$ のグラフに重なった。(解答の過程をすべて記入すること)

問 1 $f(x)$ を求めなさい。

問 2 $0 \leq x \leq 2$ における $f(x)$ の最小値を m とするとき, m を a を用いて表しなさい。

問 3 $0 \leq x \leq 2$ において, 常に $f(x) > 0$ が成り立つような a の値を求めなさい。

解答例

1 問1 $x^3 + y^3 = (x + y)^3 - 3xy(x + y)$ より

$$32 = 2^3 - 3xy \cdot 2 \quad \text{これを解いて} \quad xy = -4$$

問2 2次方程式 $x^2 - (2a - 1)x + a^2 - 2a + 2 = 0$ が重解をもつとき, $D = 0$ であるから

$$\{-(2a - 1)\}^2 - 4 \cdot 1 \cdot (a^2 - 2a + 2) = 0 \quad \text{ゆえに} \quad a = \frac{7}{4}$$

このとき, 重解は

$$x = -\frac{-(2a - 1)}{2 \cdot 1} = a - \frac{1}{2} = \frac{7}{4} - \frac{1}{2} = \frac{5}{4}$$

問3 $y = ax^2 - 6ax + b$ を変形すると $y = a(x - 3)^2 - 9a + b$

$a > 0$ より, $1 \leq x \leq 4$ において, $x = 1$ で最大, $x = 3$ で最小となる.

ゆえに $-5a + b = -3$, $-9a + b = -11$

$a > 0$ に注意して, これを解くと $a = 2$, $b = 7$

$$\begin{aligned} \text{問4} \quad \frac{1}{1 + \sin \theta} + \frac{1}{1 - \sin \theta} &= \frac{(1 - \sin \theta) + (1 + \sin \theta)}{(1 + \sin \theta)(1 - \sin \theta)} \\ &= \frac{2}{1 - \sin^2 \theta} = \frac{2}{\cos^2 \theta} \\ &= 2(1 + \tan^2 \theta) \\ &= 2\{1 + (\sqrt{2})^2\} = 6 \end{aligned}$$

$$\text{問5} \quad \triangle ABC = \frac{1}{2} \cdot 4 \cdot 6 \sin 120^\circ = \frac{1}{2} \cdot 4 \cdot 6 \times \frac{\sqrt{3}}{2} = 6\sqrt{3}$$

AD = x とおくと

$$\begin{aligned} \triangle ABD + \triangle ACD &= \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot x \sin 60^\circ + \frac{1}{2} \cdot 4 \cdot x \sin 60^\circ \\ &= \frac{1}{2} \cdot 6 \cdot x \times \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{2} \cdot 4 \cdot x \times \frac{\sqrt{3}}{2} \\ &= \frac{3}{2} \sqrt{3} x + \sqrt{3} x = \frac{5}{2} \sqrt{3} x \end{aligned}$$

$\triangle ABD + \triangle ACD = \triangle ABC$ であるから

$$\frac{5}{2} \sqrt{3} x = 6\sqrt{3} \quad \text{これを解いて} \quad x = \frac{12}{5}$$

(答) ア. - イ. 4 ウ. 7 エ. 4 オ. 5 カ. 4 キ. 2 ク. 7 ケ. 6
コ. 6 サ. 3 シ. 1 ス. 2 セ. 5

- 2 問1 1から100までの自然数全体の集合を U とし、 U の部分集合で、2で割り切れる数の集合を A 、3で割り切れる数の集合を B とする。

求めるのは、 $n(A) - n(A \cap B)$ である。

$$n(A) = \{2 \cdot 1, 2 \cdot 2, 2 \cdot 3, \dots, 2 \cdot 50\}$$

$$n(A \cap B) = \{6 \cdot 1, 6 \cdot 2, 6 \cdot 3, \dots, 6 \cdot 16\}$$

よって $n(A) - n(A \cap B) = 50 - 16 = 34$ (個)

- 問2 女子3人をひとまとめにする。

男子3人と女子ひとまとめの円順列の総数は、 $(4-1)!$ 通りある。

また、ひとまとめにした女子3人の並び方は、 $3!$ 通りある。

よって、並び方の総数は

$$(4-1)! \times 3! = 3 \cdot 2 \cdot 1 \times 3 \cdot 2 \cdot 1 = 36 \text{ (通り)}$$

- 問3 A組2人、B組2人、C組3人の3つの組に分けることを考え、AとBの区別をなくせばよい。よって、分け方の総数は

$$\frac{{}_7C_2 \times {}_5C_2}{2!} = \frac{21 \times 10}{2} = 105 \text{ (通り)}$$

- 問4 はずれは8本ある。よって、引いた3本すべてがはずれである確率は

$$\frac{{}_8C_3}{{}_{10}C_3} = \frac{56}{120} = \frac{7}{15}$$

求めるのは、この事象の余事象の確率であるから

$$1 - \frac{7}{15} = \frac{8}{15}$$

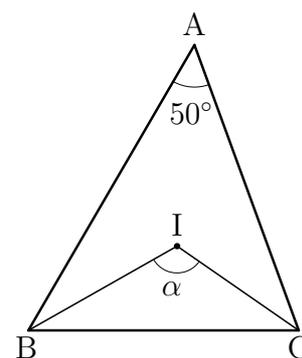
- 問5 BI, CIは、それぞれ $\angle B$, $\angle C$ の二等分線であるから

$$\alpha = 180^\circ - \frac{1}{2}(B + C) \quad \dots \textcircled{1}$$

また $B + C = 180^\circ - A$

$$= 180^\circ - 50^\circ = 130^\circ \quad \dots \textcircled{2}$$

①, ②より $\alpha = 180^\circ - \frac{1}{2} \times 130^\circ = 115^\circ$



- (答) ア.3 イ.4 ウ.3 エ.6 オ.1 カ.0 キ.5 ク.8 ケ.1 コ.5
サ.1 シ.1 ス.5

3 問1 余弦定理 $b^2 = c^2 + a^2 - 2ca \cos B$ により

$$7^2 = 5^2 + a^2 - 2 \cdot 5 \cdot a \cos 60^\circ$$

整理して $a^2 - 5a - 24 = 0$

ゆえに $(a+3)(a-8) = 0$

$a > 0$ であるから $a = 8$

問2 $\triangle ABC$ の面積 S は

$$S = \frac{1}{2}ca \sin B = \frac{1}{2} \cdot 5 \cdot 8 \sin 60^\circ = \frac{1}{2} \cdot 5 \cdot 8 \times \frac{\sqrt{3}}{2} = 10\sqrt{3}$$

問3 $2s = a + b + c = 8 + 7 + 5$ より $s = 10$

$\triangle ABC$ の内接円の半径 R は, $S = Rs$ により

$$10\sqrt{3} = R \cdot 10 \quad \text{これを解いて} \quad R = \sqrt{3}$$

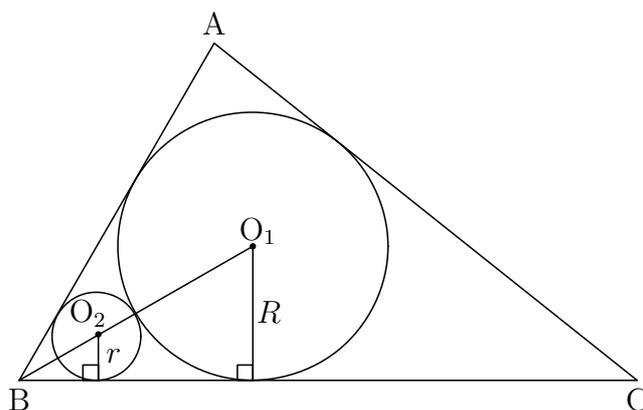
問4 O_1, O_2 は, $\angle B$ の二等分線上にあるから,

$$BO_1 = 2R, BO_2 = 2r, O_1O_2 = R + r$$

$BO_1 = BO_2 + O_1O_2$ より

$$2R = 2r + (R + r) \quad \text{ゆえに} \quad r = \frac{R}{3}$$

よって, 問3の結果から $r = \frac{\sqrt{3}}{3}$



(答) ア.8 イ.1 ウ.0 エ.3

- 4 問1 放物線 $y = x^2 - 2(a-1)x + a + 2$ を x 軸方向に 1, y 軸方向に -2 だけ平行移動すると

$$y + 2 = (x - 1)^2 - 2(a - 1)(x - 1) + a + 2$$

$$y = x^2 - 2ax + 3a - 1$$

これが $y = f(x)$ であるから, 右辺を変形すると

$$f(x) = (x - a)^2 - a^2 + 3a - 1$$

問2 [1] $0 < a \leq 2$ のとき

$f(x)$ は $x = a$ で最小となり, 最小値は

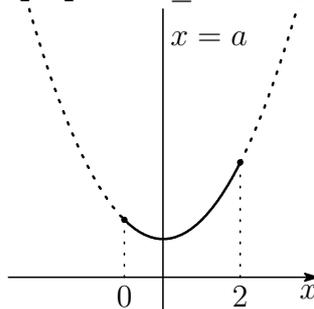
$$m = f(a) = -a^2 + 3a - 1$$

[2] $2 < a$ のとき

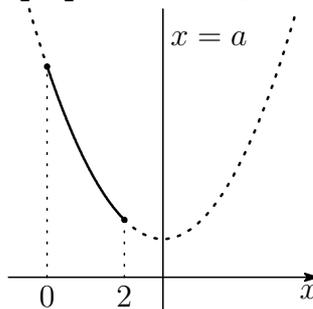
$f(x)$ は $x = 2$ で最小となり, 最小値は

$$m = f(2) = -a + 3$$

[1] $0 < a \leq 2$ のとき



[2] $2 < a$ のとき



よって $0 < a \leq 2$ のとき, $m = -a^2 + 3a - 1$

$2 < a$ のとき, $m = -a + 3$

問3 $m > 0$ となる a の値の範囲を求めればよい.

[1] $0 < a \leq 2$ のとき $m > 0$ より

$$-a^2 + 3a - 1 > 0 \quad \text{これを解いて} \quad \frac{3 - \sqrt{5}}{2} < a < \frac{3 + \sqrt{5}}{2}$$

このとき, a の値の範囲は $\frac{3 - \sqrt{5}}{2} < a \leq 2$

[2] $2 < a$ のとき $m > 0$ より

$$-a + 3 > 0 \quad \text{これを解いて} \quad a < 3$$

このとき a の値の範囲は $2 < a < 3$

したがって, 求める a の値の範囲は $\frac{3 - \sqrt{5}}{2} < a < 3$